

広報

えりも

2014

1月号

№.902

Public Relations Erimo



馬が草原を駆け回るように

まちが活気に満ち溢れる年に

平成26年の年が明け、干支は巳年から午年へと変わりました。

昨年は、まちの産業である昆布やハタハタなどが不漁の年となりましたが、今年は、馬が草原を

駆け回るように、まち全体が忙しく活気に満ち溢れる年になってほしいと願っています。

また、町内の午年生まれの方は男性186人、女性207人の計393人となっています。

新年を迎えて



平成26年1月吉日

えりも町長 岩本 博叙

新年あけましておめでとうございます。

希望に輝く平成二十六年の新春にあたり、みなさまのご健勝とご発展を心からお慶び申し上げますとともに、平素から町政に対してご協力を賜り、深く感謝とお礼を申し上げます。

昨年、町民各位のご支援のもとに、私は引き続き二期目の町政を担う榮に浴させていただきました。初心を忘れることなく①たくましく活力のある地域産業の振興②健康でいきいきと暮らせるまちづくり③自然と共生した安心・安全な生活環境の確保④町民が主役の協働による地域づくり⑤新時代を拓く心豊かな入づくりを柱に、『困難を克服する町政の実現』を目指し、町政執行に専念する所存でありますので、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

さて、平成二十四年十二月に実施された衆議院議員選挙で、自民党が単独過半数を獲得いたしました。その勢いそのままに七月に行われた参議院議員選挙でも自民党が圧勝し、参議院で与党が多数の「ねじれ国会」は解消されました。そんな中、六月末には、国の借金が初めて一千兆円を超えました。「国の景気は緩

やかな回復傾向にある」といわれていますが、地方経済においてはまだまだ実感するに至っていない現状であり、今年四月からは八%に増税される消費税による経済への影響も未知数です。また、日本と隣国との緊張状態が常態化するなか、地球規模とされる異常気象も頻発し、自然災害への迅速な対応も求められているところでもあります。

一方、町の経済を支える漁業にあつては太宗をなす昆布漁が地区的にばらつきはあるものの、凶漁により生産高・金額ともに、前年を大幅に下回る見込みですが、秋鮭漁は町全体としては、漁獲量・金額とも前年を上回る結果となりました。しかしながら、後半のハタハタ漁はかつてない不漁となり、前年の三分の一程度の漁獲量で終わりました。

昨年のえりも町は、幸いにして、行政面においては関係機関のご理解をはじめ、町議会、町民各位のご協力とご支援をいただき、道路をはじめ、公営住宅、港湾、エソシカ被害防止対策、戸別受信機の配付や教員住宅の建設など産業・生活基盤に重点を置いたまちづくりの事業を予定どおり達成することができました。このことに対しましても、心からお礼を申し上げる次第であります。ま

た、平成十八年十月から続いている「交通事故死ゼロの日」は、町民一丸となって取り組んだ交通安全運動が実を結び、八月に二千五百日を達成することができました。

迎えました平成二十六年は、少子高齢や過疎化の課題を抱えながら、そして厳しい町の財政状況のもとでも、我がまちえりも町の実情に応じた様々な施策の推進に努めなければなりません。

まちづくりの主役は町民のみならずです。全ての方が快適な生活環境の中で、暮らせるまちづくりを行うのが行政の役割との認識に立ち、町民の声を反映した町政の推進に、さらに意を用いてまいる所存であります。

終わりにあたり、町民のみなさまが健康で明るい年でありますよう、心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



12月定例町議会

12月20日に定例町議会が開かれ、町長、教育長の行政報告を始め、一般質問、条例の改正、予算の補正など提出された議案をすべて原案どおり可決して閉会しました。
詳細は、後日発行される「議会だより」に掲載されます。

一般行政報告

▼大洲市訪問交流

11月1日から4日間の日程で愛媛県大洲市を訪れ、清水裕大洲市長への表敬訪問と特産品の宣伝活動を行ってきました。

大洲市とは、平成5年に合併前の旧肱川町にえりも風の会が大風を寄贈したことが始まりで、その後、同市の風の博物館と当町の風の館が姉妹館提携を結んだことを機に、友好関係を広げました。

今回の訪問は4年ぶりです。えりも町産業活性化委員会のご協力をいただき、イベント会場で、訪れた市民の方々に鮭鍋の提供や新巻鮭などを景品とした抽選会を実施しました。

テントには、市民から昆布を加工した商品名を挙げて「販売はしないのですか」、「鮭鍋の作り方を教えてほしい」といった問い合わせもあり

ました。

少しずつですが、交流の成果ができてきているとの実感をもっておりますので、今後も大洲市とともに育んできた友好の「絆」をさらに深めてまいりたいと考えています。

▼日中友好交流事業

中華人民共和国駐札幌総領事の許金平氏を招いて、日中友好交流事業として10月18日に「国際理解フォーラム」を開催しました。

フォーラムの当日、許総領事は午前中に町内の中国人研修生が所属する事業所2社を訪れ激励、午後からはえりも岬地区で実施した記念植樹に参加した後、フォーラムでの講演を行いました。

講演で許総領事は、「互いの立場を理解することが大事です」と述べ、複雑な課題を抱える日中関係への理解を求めました。

中国外交官の話を直接聴く機会は限られています。フォーラムに参加



国際理解フォーラムで講演を行った許総領事

いただいた方々や総領事を招請した我々主催者も貴重な経験となりました。

▼交通安全運動

今年の道内の交通事故による死者数は、11月末現在で前年同期比15人減の164人と減少傾向にあります。

えりも町内の状況は、11月末現在で事故発生件数（物損事故を除く）は前年より1件増の4件、負傷者数は前年より2人増の5人となっております。「交通事故死ゼロの日」は、11月末現在で2608日であり、来年12月26日の3000日を目標に現在継続中であります。

これから厳冬期を迎えることとな

りますが、凍結路面での事故防止、夕暮れ時の事故防止、飲酒運転の撲滅など、あらゆる交通事故の根絶のため町としても交通安全運動の啓発に努めてまいりますので、町民皆様一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

▼海と山の幸フェスティバル

第32回えりも海と山の幸フェスティバルを、10月6日スポーツ公園を会場に開催しました。

当日は、えりもには珍しく風のないうさわやかな秋晴れの中、商工青年部のミニSL運行、子ども宝探し、フリスビーキャッチと続き、その後のもちまき大会では、午前の部で出店団体提供の景品と鮭つかみ捕り券、午後の部では生鮭80本を含む、お楽しみ抽選会が実施され、さらに、えりも高校が総合学習として取り組んでいる郷土芸能「駒踊り」の発表や町民吹奏楽団による演奏が披露され、会場を盛り上げました。

また、えりもの秋の味覚として恒例となった、えりも漁協女性部による鮭鍋のほか、ツブそば、さらには初めての試みとしてミニいくら丼など、どのブースにも長蛇の列ができ、好評を博していました。

本年度も札幌えりも会をはじめ、町内外から訪れた8000人以上の

方々にイベントと秋の味覚を堪能していただき、開催することができました。

フェスティバルに協賛、後援いただいた産業団体をはじめ、各団体の方々に感謝を申し上げます。

▼サケの飯寿司づくり体験事業

えりも地域力発掘協議会主催の「第5回サケの飯寿司づくり体験会」を11月9日から2日間の日程で実施しました。

地域の伝統として昔から伝わる手法で作る「サケの飯寿司」を、「浜のかあさんに教わりながらつくりませんか」と題して、昨年同様新聞で呼びかけたところ、札幌市や旭川市など道内各地、さらには東京など道外からも多くの申し込みがありましたが、本年度は89組125人の参加で実施しました。

初日は、栽培センターで佐藤勝えりも地区サケ定置部会長と久慈裕文料飲店組合会長が講師となり、えりも漁協女性部のサポートで、飯寿司づくりの下準備であるサケの三枚おろしと切り身づくりを行い、2日目には第二体育館に会場を移して、毎年行われている「つけものコンクール・サケ飯寿司の部」で、入賞常連の渡部智佳子さんを講師に招き、前日に引き続きえりも漁協女性部10

人のサポートのもと、実演映像を見ながらダイコンやニンジンなどの野菜切りから漬け込むまでの「飯寿司づくり」を体験していただきました。

この体験事業は、予想以上の人気で、町内の宿泊施設に泊まるなど経済効果もあることから、さらなる工夫をして次年度以降も継続していきたいと考えております。

▼マツカワ稚魚の放流

6月下旬から7月上旬にかけて伊達センターで種苗生産されたマツカワ稚魚43万4000尾をえりもセンターに搬入し、中間育成を開始しました。

えりもセンターに搬入した稚魚



マツカワ稚魚の放流（えりも岬小学校）

は、その後順調に飼育され、搬入数43万4000尾に対し、99・47%の生残率で中間育成に成功し、9月3日から10月15日までに、日高管内に約34万2000尾を放流することができました。

しかし、今年の7月に伊達センターでウイルス性神経壊死症が発症したため稚魚を大漁に処分したことから、稚魚の不足が生じ、えりもセンターで中間育成した稚魚をえりも岬以東地域の十勝・釧路・根室地区の協議会へ合計9万尾を供給しています。

このほか、マツカワ栽培漁業PR事業の一環として、8月14日にはえりもの灯台まつりでえりも港より2000尾、9月20日には襟裳岬以東地域マリンビジョンの一環として、えりも岬小学校児童と参加者によりえりも岬漁港で3000尾、さらには10月10日に庶野小学校児童と参加者により庶野漁港で2000尾、10月15日には光の園幼稚園児とその父母によりえりも港で2000尾を放流しました。

また、町外では11月1日に新ひだか町において、釣り団体と協働により、静内浦和地先で2000尾を放流しました。

なお、上記を除くえりも町におけ

る放流数はえりも地区・庶野地区を合わせ、約10万5000尾となっており、今後のマツカワ資源の増大に大きく期待しています。

▼緑化事業

本事業においては、今年で60年という節目を迎えることができました。これを記念した事業として6月8日と9日にえりも岬及び百人浜で「2013・森と海のフェスティバル」を開催し、2日間で延べ600人に参加していただきました。

8日は襟裳岬風の館シアターで緑化の取り組み60年の歩みをDVDで鑑賞し、その後、参加者100人が見守る中「ふれあいの森」森林整備協定として、日高南部森林管理署とえりも岬の緑を守る会が、また、「えりもイキイキの森」づくり活動支援協定として、セブンイレブン記念財団とえりも岬の緑を守る会がそれぞれ調印を行っています。

さらに、小学生40人による「森林づくり体験」では北の森づくりサークル会員から苗木を植えるカミネツコンづくりを教わり、ミズナラ、ハンノキなど200本の苗木を詰め、襟裳岬市街を見下ろす高台に植樹を行いました。

9日は、百人浜・一石一字塔横の駐車場で開会式を行い、町内の各種



ミズナラ、ハンノキなどの苗木を植樹

団体、小中学校及び高校の児童生徒と教職員、セブンイレブン関係者、さらには、札幌近郊よりえりも岬緑化研究会ほか総勢500人の参加により百人浜展望塔付近において、クロマツの苗木2256本を植樹しています。終了後には植樹会場前浜で、えりもセンターで飼育されたマツカワ稚魚2000尾を海へ放流しました。

また、会場ではえりも岬小学校児童による「荒波太鼓」、さらに二胡演奏者4人がベトナムのアオザイを身にまとい「蘇州夜曲」、「襟裳岬」など5曲を優雅に披露していただきました。

次に、緑化60周年記念事業の秋の事業として、10月5日にイキイキ森林づくり事業をえりも岬国有林内で行い、漁業者を含めた地元関係者を始め、北海道森林管理局、日高南部森林管理署、日高振興局、ひだか南部森林組合、さらに日高王国が受け入れている道外からの修学旅行生である兵庫県・神戸村野工業高校の2年生・6人にも参加していただき事業を実施しています。

町としても、えりも町が誇る「えりも岬国有林緑化事業」60年を機にさらに実り多いものとするため、これからも「緑の大切さ」を一人でも多くの町民に呼びかけ、豊かな森林

づくりを推進するとともに、自然環境にもたらす森林の意義を全国的に発信していきたいと思えます。

▼小児科の開設について

現在の診療所は、常勤医師2人により内科・外科の2診体制で診療業務にあたっていますが、平成26年4月1日より、小児科医師を招聘し、新に小児科を開設することになりました。

このことにより、診療時間の短縮や近隣町へ通う時間などの短縮が図られ、定期患者や子どもを持つ親の負担が軽減されるものと考えております。

なお、平日の時間外・深夜の救急

教育行政報告

▼日高教育局義務教育指導班指導主事による学校訪問

学校経営の一層の充実と教職員の資質向上を目的に実施している指導主事の学校訪問は、12月5日をもって全校終了しました。

各学校に適切な指導と助言がなされていきましたので、今後の授業実践に生かしていきたいと考えています。

また、教育委員による学校訪問に

ついても、全て終わっています。

▼教職員の研修

教職員の研修については、町学校教育研究会や道立教育研究所による研修活動及び研修講座に参加し、児童生徒の学力向上と教職員の資質向上や各学校間の情報交換に努めています。

中でも、町教育向上対策委員会主催で、11月25日から26日にかけて、学力向上に関わり顕著な成果を上げている登別市立幌別小学校と室蘭市立翔陽中学校の2校を町内の教職員

外来については、内科・外科・小児科の3人の医師による輪番制で診療業務にあたることとなりますのでご理解願います。

▼建設事業の発注状況

平成25年11月30日の建設事業の発注状況は、土木工事では新浜団地1号線舗装工事他8件、建築工事では医師住宅新築工事他19件、水道工事では東部配水管更新工事他11件、下水道工事では新浜地区下水道工事他1件、委託業務では下水道管渠清掃委託業務他12件となっています。

等8人が視察しました。

今後、前教職員を対象に報告会と本年度町内の学校の実践発表が予定されています。

研修成果が還流され、各学校の学力向上対策に生かされるよう期待しています。

▼中高一貫教育の推進

平成16年度からスタートした中高一貫教育は、えりもの緑化事業を体験するフィールド学習、キャリア教育について講話を受け理解を深める進路ガイダンス、中学2年生が参加

した高校一日体験入学、連携型入学者選抜に向けた中学生面談や授業交流等、多くの事業を実施しました。

特に、本年度は節目の10年目を迎えることから、11月27日に北海道医療大学の富家直明教授を迎え、えりも中学校を会場として「認知行動療法知ろう！スランプに負けないためには？」をテーマとした記念講演を実施しました。

今後は、高校から中学校に乗り入れ授業を行っている英語科及び数学科における先進地視察を検討しており、当町における中高一貫教育の一層の充実と活性化に結び付くものと考えています。

▼えりも高校

(1) 進路指導

えりも高校における進路状況は、12月5日現在、37人中、就職内定が10人、進学が21人合格内定となっており、順調に推移しているものと考えています。

今後も、全員の進路が決定することを目標に、進路指導の継続を図っていきます。

(2) 海外研修

10月22日から26日にかけて、大韓民国での海外研修旅行を実施し、第3学年の生徒31人、引率教諭5人が参加しました。

今回も昨年に引き続き、在韓日本女性が暮らす福祉施設「慶州ナザレ園」を訪問し、園を紹介したビデオ学習や、紙風船やお手玉遊び、童謡と一緒に合唱するなどの活動を通して親交を図りました。

また、姉妹校の茂山中・高等学校では、熱烈的な歓迎を受けて交流会を実施し、懇談や合唱交歓、サッカーによるスポーツ交流を通して相互理解を図りました。

参加した生徒にとつて、大変有意義な交流会になったとともに、大韓民国の歴史や風土、文化に触れ、国際的な視野の醸成という大きな財産を得たものと思っております。

(3) 高文連美術展

9月に苫小牧市で開催された北海道高等学校文化連盟日胆地区の支部美術展で、本校美術部の4作品が優秀賞を獲得し、10月10日から12日まで釧路市で開催された高文連全道美術展に参加しました。

今回は、健闘するも入賞を逸しましたが、今後も美術部のさらなる活躍を期待しています。

(4) バレーボール部の全道大会出場

10月5日に新ひだか町で開催された「第66回全日本バレーボール高等学校選手権大会北海道予選会日高地区予選」で女子バレーボール部が準

優勝し、全道大会への出場権を獲得しました。

11月19日から22日にかけて、札幌市北海道立総合体育センターで開催された全道大会については、初戦で惜しくも敗退したもののフルセットでの激戦となりました。

部員8人という少数精鋭ですが、今後も女子バレーボール部のさらなる活躍を期待しています。

▼第62回全道へき地複式教育研究会日高大会

「主体的・創造的に学び、豊かな心でたくましく、ふるさとを拓く子どもへの育成」を研究主題として、全道へき地複式教育研究大会日高大会の分科会が管内の7校を会場に開催しました。

当町では、えりも岬小学校と笛舞小学校の2校が分科会の会場となり、9月27日、町内外から多くの教職員が参加し、複式学級の授業参観や研究協議が行われました。実践に積極的に取り組まれた教職員に対し、心から感謝するとともに、成果の定着と課題を踏まえた一層の充実を望みます。

●えりも岬小学校（第1分科会）

公開授業 算数

●笛舞小学校（第2分科会）

公開授業 算数



笛舞小学校での公開授業

▼研修会等の開催

(1) 幼児教育振興会事業

10月30日に、札幌市の人形劇団「えりっこ」による人形劇を、幼児保護者合わせて170人が鑑賞しました。

また、11月5日には、札幌第一こどものとも社代表の藤田春義氏を招き、「大切な命、幼い人と寄り添い、生きること」と題して、幼児を持つ保護者や教育関係者を対象に約50人が参加し、幼児教育講演会を開催しました。

人形劇では幼児に情操を養い、講演会では命について学習しました。

(2) 高齢者教室生大会

11月9日に、町内各地区から130人が参加して、えりも町高齢者教室生大会を開催しました。

午前は、保健福祉課との共催で、帯広市医療法人社団博人会大江病院院長の大江徹氏による「心と体の健康講座」と題して、認知症の理解と関心を図り、午後からは、歌や踊りの交歓会を行い、出演者と一体となつて交流を図りました。

(3)えりも町PTA連合会研究大会

11月23日に、約80人が参加し、えりも町PTA連合会研究大会を開催しました。

講師に、札幌市子どもネット研究会事務局の高橋大洋氏を招き、「インターネットの可能性と危険性」と題して講演を行い、インターネットの利用に当たり、危険性や注意点、子どもへの対応について学習し、子どもの健全育成のため、親と教師がともに研修を深めることができました。

(4)町民生涯学習講座「まなびの広場」

町民の学習機会の拡充を図ることを目的に、町民生涯学習講座「学びの広場」を本年度も開催しました。

健康講座では、11月15日に「セルフボディケア・エアロビクス・体質改善」、文化講座として「絵画・ステンドグラス教室」を実施し、80人の方々が受講しました。

今後、様々な講座を開講し、学習の機会を図っていきます。

▼芸術・文化の振興

(1)えりも町民芸術文化鑑賞会

文化協会が主催する「町民芸術文化鑑賞会」を9月27日に開催しました。

札幌在住の桂枝光師匠による落語、漫才、ジャグリングが披露され、120人の来場者は、話術の伝統芸、大道芸など、質の高い演芸を楽しみ、会場は笑いに包まれました。

(2)第43回えりも町文化祭

文化協会加盟団体等が日頃の成果を発表する「町文化祭」が10月19日から27日まで、福祉センターで開催しました。

作品展は、団体、個人の作品をあわせた約851点の展示があり、また、10月27日に行われた芸能発表会では、文化協会加盟団体の他、えりも岬小学校児童による神楽や、えりも空手少年団による演武の披露も行われ、多くの観客がそれぞれの発表を楽しみながら鑑賞しました。

(3)日高管内道民芸術祭合唱祭

第37回日高管内道民芸術祭合唱祭が、11月17日、えりも小学校の多目的ホールを会場に開催しました。

当町からは「しお風コーラス」、
「えりも中学校吹奏楽部」が参加したほか、管内各町の団体や教員のグ

ループなど、9団体160人が集まりました。

美しいハーモニーが披露され、日頃の練習成果が伝わってきました。

▼郷土資料館事業

(1)各種学習の場の提供

体験陶芸教室は、午前の部、午後の部の2部を設けて実施し、親子参加やリピーターも多く、創作の心を育む場を提供しました。

親子で参加できる「焼き芋・もちつき」体験には、20人を超える親子の参加者を得、中学生や一般のボランティアとともに、日頃できない経験の場を提供しました。

(2)猿留山道の保全と活用

町文化財「猿留山道」については、昨年までの「猿留山道復元ボランティア事業」により、比較的安全に歩行できる環境になったことから「猿留山道を歩く会」と事業名を変更し、9月28日から29日の2日間の開催としたところ、「わらしゃんど・えりもまるごと自然体験」の小学生、えりも高校のボランティアサークルの生徒の参加を含め、町内外から110人の参加者がいました。

豊似湖をはじめとする日高東部の自然環境を体験することができ、今後、歴史について学ぶ場を提供したいと考えています。



「猿留山道を歩く会」

▼体育の振興

(1)スポーツ事業

スポーツを通して町民の健康・体づくりの維持、増進を図ることを目的に、秋晴れのもと10月14日に陸上競技場をメインに、第35回町民マラソン大会を開催し、幼児から成年まで98人が参加し、さわやかな汗を流しました。

(2)スポーツ団体の活動

町内の各スポーツ少年団や各スポーツ団体は、各種大会に出場し健闘しています。

日頃から練習に励み奮闘している少年団員や、余暇時間を活用し競技力向上のため日頃から指導されている

る団体の方々に敬意を表するとともに、さらなる活躍を期待しています。結果については、次のとおりです。

①スポーツ少年団各種大会成績

●えりもバレーボールスポーツ少年団
大会名Ⅱ第33回道新カップ小学生
バレーボール大会日高地
区予選会
日時Ⅱ9月29日
場所Ⅱ町民体育館
成績Ⅱ第3位

●えりもバレーボールスポーツ少年団
大会名Ⅱ第11回北海道スポーツ少年
年団バレーボール大会日
高地区予選

日時Ⅱ10月5日
場所Ⅱ浦河町ファミリースポ
ーツセンター
成績Ⅱ第3位

②スポーツ少年団全道大会成績

●えりもバレーボールスポーツ少年団
大会名Ⅱはまなす国体記念第24回
ふかがわカップ全道小学
生バレーボール優勝大会
日時Ⅱ9月15日
場所Ⅱ深川市総合体育館
成績Ⅱ2回戦敗退

③スポーツ団体各種全道大会成績

●えりもバレークラブ(女子)
大会名Ⅱ第21回北海道クラブバレ
ーボール連盟選手権大会

日時Ⅱ9月15日
場所Ⅱ小樽市
成績Ⅱ第3位

●えりもバレークラブ(男子)
大会名Ⅱ第21回北海道クラブバレ
ーボール連盟選手権大会
日時Ⅱ9月15日
場所Ⅱ小樽市
成績Ⅱ決勝トーナメント1回戦
敗退

(3)スポーツ公園施設の利用状況
スポーツ公園の各施設は、4月29
日から10月31日に開館しました。
また、温水プールも4月28日か
ら9月30日まで開館しました。
この間の利用者は、次のとお
りです。

●野球場

利用者数Ⅱ1803人(うち夜間
利用者数Ⅱ863人)

●テニスコート

利用者数Ⅱ93人(うち夜間利用者
数Ⅱ33人)

●運動広場

利用者数Ⅱ1万3668人

●陸上競技場

利用者数Ⅱ4111人

●ゲートボール場

利用者数Ⅱ134人

●温水プール

利用者数Ⅱ7185人

後期高齢者医療制度のお知らせ 高額介護合算療養費及び医療費通知について

■高額介護合算療養費について

医療と介護の両方を利用している世帯の自己負担を軽減する制度です。

同じ世帯の被保険者が、1年間に支払った後期高齢者医療制度と介護保険の自己負担額の合計額が限度額を超えたときは、その超えた額が後期高齢者医療制度及び介護保険から支給されます。

なお、手続きには申請が必要となります。

- 後期高齢者医療制度又は介護保険の自己負担額のいずれかが0円の場合は対象となりません。
- 支給額が500円以下の場合には支給されません。

■医療費通知の送付を希望される方へ

北海道後期高齢者医療広域連合では、発行をご希望される方を対象に、医療費を半年ごとにまとめた医療費通知を送付しています。次回の発行は平成26年3月（平成25年7月～12月診療分）に行います。

◆新たに発行をご希望の方はご連絡ください。

新たに発行をご希望の方は、お手数ですが、北海道後期高齢者医療広域連合又は役場保健福祉課医療給付係へご連絡ください（電話でのご連絡だけで手続きできます）。

- すでに「発行希望」のご連絡をいただいている方につきましては、継続して発行しますので、再度のご連絡は必要ありません。
 - この通知を受け取られたことにより、申請の手続きをする必要はありません。
- ※ この通知を確定申告などの「医療費控除」の領収書の代わりとすることはできません。

◆自己負担限度額表

負担割合	区 分	自己負担額の合計の基準額	
3割	現役並み所得者	67万円	
1割	一 般	56万円	
	住民税非課税世帯	区分Ⅱ(※1)	31万円
		区分Ⅰ(※2)	19万円

【自己負担額の計算期間：8月1日～翌年7月31日】

- ※1 世帯全員が住民税非課税である方
- ※2 世帯全員が住民税非課税であり、世帯全員の所得が0円（公的年金収入のみの場合、その受給額が80万円以下）、又は老齢福祉年金を受給している方

お問い合わせ先

北海道後期高齢者医療広域連合
〒060-0062
札幌市中央区南2条西14丁目
国保会館6階 ☎011-290-5601
えりも町役場
保健福祉課 医療給付係 ☎2-4622

地区別町政懇談会

月日	地区・自治会	会 場	開始時間
1/28 (火)	歌別・上歌別	歌別生活館	10時00分～
	庶野	庶野生活館	13時30分～
	目黒	目黒生活館	15時00分～
1/29 (水)	近浦・笛舞	笛舞ふれあい館	10時00分～
	西えりも	西えりも生活館	13時30分～
	本町・新浜	福祉センター	15時30分～
1/30 (木)	大和第1第2・和里	大和共同作業所	10時00分～
	東洋	東洋生活館	13時30分～
	えりも岬	林業総合センター	15時15分～

えりも町が行っているさまざまな事業の説明や、町民みなさんからのご意見、要望などを話し合う場として毎年開催している「地区別町政懇談会」を、次の日程で開催します。

町民みなさんのご参加をお待ちしています。

●お問い合わせ先
企画課広報係
☎2-4612

国民健康保険に加入されている皆様

医療費が高額になったとき

1 か月間に医療機関（医科、歯科、調剤）に受診した際の医療費（保険適用額）が高額になった場合、役場に申請していただき該当になれば、高額療養費が支給されます。

1 70歳未満の方の1か月の自己負担限度額

所得区分	限 度 額
※上位所得者	150,000円+（総医療費－500,000円）×1% 【83,400円】
一 般	80,100円+（総医療費－267,000円）×1% 【44,400円】
低所得者 （住民税非課税世帯）	35,400円 【24,600円】



【 】内の金額は、過去12か月間でひとつの世帯での高額療養費の支給回数が4回以上あった場合の4回目以降から適用される限度額です。

※上位所得者…国保に加入する世帯員の総所得（基礎控除後）の合計額が600万円を超える世帯

2 70歳～74歳の方の1か月の自己負担限度額

所得区分	外来（個人単位）	外来+入院（世帯単位）
※現役並み所得者	44,400円	81,000円+（総医療費－267,000円）×1% 【44,400円】
一 般	12,000円	44,400円
低所得者Ⅱ	8,000円	24,600円
低所得者Ⅰ		15,000円

※現役並み所得者…同一世帯に70歳～74歳の国保加入者の住民課税所得が145万円以上かつ収入383万円以上の場合

70歳未満の方が1ヶ月に限度額いっぱい負担した他に、外来などで2万1000円以上負担した場合も高額療養費が支給されます。

●お問い合わせ先

役場保健福祉課医療給付係 ☎2-4622





感謝状を手に岩本町長と地域貢献企業の3社

地域貢献企業3社へ感謝状

11月27日、役場応接室で町内小中学校教室の環境整備に無償奉仕した池田建設(株)、北海道ロードメンテナンス(株)、(株)錦戸電気の企業3社へ岩本町長から感謝状が贈呈されました。
 企業3社は、LED蛍光灯交換や敷地の側溝清掃などを行いました。
 岩本町長は「現在、自治体の財政状況が厳しい中で、各企業が無償奉仕で整備を行っていただいたことに対し、大変感謝しています」と感謝の言葉を述べました。

社会福祉施設へ飲料水を寄贈

12月5日、役場応接室で北海道コカ・コーラボトリング(株)(矢吹健次代表取締役社長)が、社会福祉施設にクリスマスプレゼントとして、お茶など22ケース474本分の飲料水の目録を岩本町長に手渡されました。

飲料水の寄贈は、毎年、同社が地域に対する社会貢献活動の一環として行っており、寄贈された飲料水は各保育所(中央・岬・庶野)や光の園幼稚園、特別養護老人ホームやまと苑に寄贈されました。



目録を受け取る岩本町長



奨励賞を受賞した川村さん

世間の偏見をなくしたいと思い

第33回全国中学生人権作文コンテスト札幌地方大会で、えりも中学校3年の川村茉由さんが奨励賞を受賞しました。
 12月13日、えりも中学校校長室で表彰式の伝達式が行われ、札幌法務局の須藤和典日高支局長から手渡されました。
 同コンテストに、道内112校から3031編の応募があった中での受賞で、川村さんの作文は「耳が聞こえなくても」と題し、難聴の両親のために、小学生のときから手話を習っている級友の行動を紹介したことなどが書かれていました。

いじめ根絶を願い

道教育委員会主催、平成25年度「いじめ・ネットトラブル根絶!メッセージコンクール」に管内小中学校、高校からポスター5点、標語664点の応募があった中から、高校の部「いじめの根絶部門」の標語部門でえりも高校2年の根井あずささんとポスター部門で同校生徒会が日高教育局最優秀賞に選ばれました。

12月17日、えりも高校校長室で受賞式が行われ、日高教育局の奥村尚久義務教育指導監から根井さんと同校生徒会書記の東山伶奈さんへ表彰状が手渡されました。



最優秀賞を受賞した根井さんと生徒会

Town News

—まちの便り—



新松さんらの指導を受けながら年縄づくり

としなわ 師走恒例の年縄づくり

12月 5日

12月5日から2日間、正月に飾る年縄づくりが郷土資料館で行われ、北緯42度の会会員を含む16人が参加しました。

年縄づくりは、同会の新松隆さんら会員が指導を行い、7月に町内で刈り取り、陰干ししたスゲグサを使用しました。

参加者はスゲグサに霧吹きをかけ湿らせ、片足で押さえ、手の平を回転させながら編み、途中にスゲグサを3か所垂らし、輪年縄をつくりました。

最後に、神棚に飾るゴボウ型の年縄を4人がかりでつくりました。

12月 6日 児童たちはもちつきを体験

中央保育所（岩間茂子所長・児童136人）でもちつき会が行われました。

児童たちに、もちになるまでの過程を知ってもらうため、1歳児から5歳児までの児童が保育士のサポートを受けながら、杵を持って臼に入っているもち米を一生懸命につき、出来上がったもちを一口くらいの大きさに丸めるなどの作業を行いました。

児童たちが丸めたもちは、昼食時に雑煮ときなこもちにして食べました。



一生懸命にもちをつくる児童



小関税理士は経営者へ増税対応を詳しく説明

消費税増税分の対応は慎重に

12月 6日

道商工会連合会と町商工会共催の「消費税改正及び転嫁対策講習会」が町商工会で行われ、浦河町で税理士事務所を営んでいる小関孝雄税理士が講師を務め、この日参加した町内の経営者25人へ増税の対応について講習を行いました。

小関税理士は、「消費税が26年4月から8%になります。増税分は社会保障の安定財源確保に使用されることになっています。経営者の皆さんは増税分の安易な価格転嫁は売上額の減少を伴い、経営利益を圧迫する危険があるため、慎重な対応が求められます。」と話しました。

12月7日

熱戦が続いた試合

町商工会（砂原勲会長）主催の「商工会長杯町民ミニバレーボール大会」が町民体育館で開催されました。

職場や地区などから22チーム150人が参加したこの大会は、男子（8チーム）、女子（6チーム）、混合（8チーム）の三部構成で行われ、男子と混合の部については予選リーグと決勝トーナメントを行い、女子の部は決勝リーグが行われました。

大会は熱戦が続く試合となり、参加者は汗をかきながら、試合を行っていました。



22チーム150人が参加したミニバレーボール大会



完成したトマトジュースを手渡す坂田代表取締役

「アイコ」をジュースにまちをPR

12月11日

㈱えりも開発（坂田知也代表取締役）が運営しているトマト工房えりもで栽培したミニトマト「アイコ」をジュースにした試作品が完成したことを報告するため、坂田代表取締役と坂田成哉事務局長が岩本町長を表敬訪問しました。

坂田代表取締役は「ラベルに襟裳岬の写真を使用し、まちのPRに貢献したい。ジュースは、濃厚だがすっきりとした味わい」と話しました。

試飲をされたい方は、㈱えりも開発（☎2-2701）までお問い合わせください。

12月12日

まちを活気づけるために

町商工会（砂原勲会長）が主体となり、地元会員企業の支援及び地域に活気を呼び戻す地域商業活性化対策として、町の助成を受けて、「商工会限定プレミアム付商品券」5,000セットが販売されました。

当日は、午前10時の販売前から商工会ロビーに、商品券を求める町民約70人が並んでいました。

砂原会長の挨拶で「昨年も商品券を販売し好評だったので、今年も時期は遅くなりましたが町の助成を受け、販売することができました」と話しました。



商品券を求め、多くの町民が購入に訪れる



サンタさんからプレゼントを受け取る児童

クリスマスプレゼントに大喜び

12月18日

町内の青年イベントグループ「祭本舗・風舞」（岩間典明代表）が町内の各保育所（中央・岬・庶野）と光の園幼稚園を訪れ、子どもたちへ一足早いクリスマスプレゼントを贈りました。

毎年行っているこのイベントは、子どもたちに喜ばれており、サンタクロースやトナカイの衣装を着た6人が登場すると、子どもたちは喜んだり、驚いた顔をしていました。

子どもたちは、サンタクロースからお菓子の入ったプレゼントを受け取りました。

競技を通して交流を図る

小学生41人が参加

今回で2回目となった町青少年健全育成会（運上英昭会長）主催の「えりも遊びリンピック」が、11月23日（土）町民体育館で開催され、町内の小学1～6年生41人が参加し、全6種目の競技が行われました。

競技は各学年ごとに分かれ一斉にスタートし、ドッチボールを使いペットボトルを何本倒せるかを競うボーリングやディスク、シャトル、豆うつし、片足立ちの5種目のチャレンジ競技が行われました

全学年でのじゃんけんチャレンジでは、中村葉月さん（庶野小2年）がトップになりました。

全競技終了後にはアトラクションとして、参加者全員で「ドッチビー」を行い、交流を図りました。

表彰式では、各学年ごとの1・2・3位の入賞者に賞状とメダルが手渡されました。

学年・学校を問わず参加者全員が交流できる機会となりました。

生涯学習だより



ディスクチャレンジを行う参加者

「えりも遊びリンピック」の結果

	1位(金)	2位(銀)	3位(銅)
1年	丸山陽生	小山内葉菜	坂田大粋
2年	山村康介	古海宏樹	佐々木龍海
3年	藤井 終	久保田陽喜	丸山颯太
4年	富沢柚香	田中美嵯紀	石川雄登
5年	杉本夏美	芳賀裕之	佐々木 樹
6年	横浜裕太	寺井碧空	犬山大輔

ステンドグラス教室

11月19・26日(火)、12月3日(火)の全3回の行程で、生涯学習講座・まなびの広場「ステンドグラス教室」が行われました。

講師に田中清恵さんを招き、参加者10人はクリスマスをテーマにした作品づくりを行いました。

参加者はパーツの多い作品に苦戦しながらも、講師の指導を熱心に聞き、作品を完成させました。



田中さんのアドバイスを受ける参加者

サンタキャンドルづくり

11月23日(日)福祉センターで、町市街地青少年育成協会(運上英昭会長)主催の「親子でチャレンジ!サンタキャンドルづくり」が行われ、市街地区(大和～歌別)の親子8組18人が参加しました。

参加者は親子でコミュニケーションを取りながら、1つ1つ表情の違う個性豊かなサンタクロースのキャンドルを作っていました。



時間をかけて完成させたサンタキャンドル

新しい本

図書館だより

《おすすめ本》

人間にとって成熟とは何か
曾野 綾子 著

人はみな平等に年を取るが、しだいに人生がおもしろくなる人と、不平不満だけが募る人がいる。両者の違いは一体何か。「憎む相手からも人は学べる」、「諦めることも一つの成熟」、「礼を言ってもらいたいくらいなら、何もしてやらない」等々、世知辛い世の中を自分らしく生き抜くコツを提言。

まわりに振り回され、自分を見失いがちな人に贈る一冊



《一般書》

- 原発ホワイトアウト／若杉 冽
- 伝え方が9割／佐々木圭一
- 村上海賊の娘 上巻・下巻／和田 竜学
- とっぴんぱらりの風太郎／万城目 学
- まほろ駅前狂騒曲／三浦しをん
- 去年の冬、きみと別れ／中村文則
- 疾風ロンド／東野圭吾

児童が図書室を見学

公共施設の利用方法などを学習する一環として、11月29日(金)に庶野小学校2年生7人の児童が図書室に来室し、質問を交えながら理解を深めました。



図書室の本を読む児童

《児童書》

- 宇宙探査大図鑑／的川泰宣監修
- 世界の海賊大図鑑1・2／森村宗冬
- オー・スッパ／越野民雄
- かいわれざむらいとだいこんひめ／川北亮司
- きつねとうさぎ／F.ヤールブソワ絵
- この羽だれの羽？／おおたぐろまり
- したのどうぶつえん／あきびんご

子育てテレホンサービス ☎2-3715

12/27～ 1/ 9	自分の考えで、よい、悪いの判断はまだ無理
1/10～ 1/16	落ちつきのない子ども
1/17～ 1/23	友だちづき合い
1/24～ 1/30	朝の目覚めを良くするためには
1/31～ 2/ 6	説明はわかりやすく、具体的に

音声テープによるサービスです。電話をかけると音声の流れ、各内容についてのアドバイスを聞くものです。
※会話はできません。

成人式は、

1月12日(日)です。

出席される方は、必ずお申し込みください。

※詳しくは広報11月号をご参照ください。

※対象者の参加申込は締切後も受け付けますが、お早めをお願いいたします。

●お問い合わせ先

教育委員会社会教育課社会教育係
(☎2-2526 FAX2-2524)

昭和43年広報紙で見る町の歩み

近浦団地造成、アベヤキ川永久橋など

1月号の表紙写真は、新浜コロップ沢に1周400mのスケートリンクが完成して、町民が初滑りを楽しんでいます。町立診療所に隣接して母子健康センターが完成し、専任の助産婦を配置して町内で安心してお産ができるようになりました。

花田政雄町長は、就任初年度の町政執行方針で、道々歌別大橋からの直線化工事、国道アベヤキ橋架設工事、道営肉牛牧場誘致決定を述べています。

町の発展に尽くした名誉町民・西川岩二郎さんが3月31日、94歳の生涯を閉じました。町では町葬を執行して、生前の功績に報いました。

5月中旬の豪雨で、近浦国道沿いの漁家住宅が地滑りで大きな被害を受け、町はその対策で近浦牧野(現・近浦団地)に宅地造成して、8戸が住宅融資をうけて移転することを決めました。

9月号には、老朽化していた歌別小校舎の改築が進み、児童90人が11月の完成を待ち望んでいる様子が、全校生徒52人の目黒中が、中体連野球全日高大会で準優勝。初出場の日胆大会では、大規模校と互角に試合を進めたが惜敗。その健闘は、へき地

校の生徒に勇気と希望を与えました。

10月号には、岩手県から導入した短角牛の雌子牛40頭が、農家に引き渡される様子が載っています。近浦団地に漁家住宅8戸が完成し、今後も宅地造成を進めることにしています。

11月号には、国道改良でアベヤキ川に永久橋が完成、道々も歌別大橋から襟裳方面への直線化工事が急ピッチで進められています。広報トピックスには、浅井笑福堂が、札幌市で開催の全国菓子大博覧会に出品した「えりも昆布羊羹」が名誉金賞牌を受賞したと載っています。

12月号には、歌別小校舎の改築落成と、5漁協合併3年を経て幌泉町漁協本所がえりも港湾区域に完成したことを知らせています。



母と子の家前広場で遊ぶ子どもたち

えりも^{しりょうかん}MUSEUM

町内の馬頭観音

平成25年は「うま年」です。えりも町内にある馬に関する石碑には、馬頭観音や獣魂碑などがあり、20基を確認しています。

各地区にある数は、目黒1基、庶野1基、百人浜1基、えりも岬1基、東洋4基、歌別4基、本町2基、大和・和里3基、笛舞1基、猿留山道1基です。

時代別に分けると、江戸時代1基、明治時代なし、大正時代2基、昭和の戦前5基、昭和の戦後8基、時代不明4基となります。

馬頭観音は、もともとは荷役や通行の安全を祈願して、峠などに建立されたものですが、時代が進み、人と家畜がより親密になると、馬の供養や無病息災を願い建立されることが多くなりました。

正式には馬頭観世音菩薩、サンスクリット語(古代インドの礼拝用語)のハヤグリーバァ(馬の頭を持つ者)からきています。

えりも町内に初めて馬が連れてこられたのは、

江戸時代寛政元年(1789)だと考えられています。本格的に通行や荷役に用いたのは猿留山道が開削された寛政11年(1799)です。

江戸時代に建立されたのは猿留山道沼見峠にある「馬頭観世音菩薩」(1861)で、まさしく通行の安全を願ったものでしょう。

明治時代に建立されたものはありませんが、幌泉地域の馬の数は、明治10年(1878)には578頭、明治14年には1,000頭を超えていました。山から薪や炭、木材の搬出、コンブ等の運搬に役立ったのではないのでしょうか。

明治20年には幌泉産場改良組合が設立され、品種改良に取り組みました。

日清戦争・日露戦争・太平洋戦争などの軍馬を生産し、戦後、軽種馬への移行を経て、えりも町も馬産地として発展しました。



目黒地区にある馬頭観音(右)と上歌別神社にある馬頭観音(左)

気象台からの 防災メモ

9

— 暴風雪 —

胆振・日高地方で大雪となるのは、発達した低気圧が南の海上を通過する場合には広い範囲で雪が降る場合があります。「西高東低」の冬型の気圧配置でも風向によっては、一時的に強い雪が降る場合もあります。

大雪による災害は、雪がタイヤの半分以上降り積もると車は走ることができなくなることや風が強いとふぶきで見通しが悪く、停車するとふきだまりができて動けなくなることもあります。また、道路の通行止めや公共交通機関の運休など交通障害が発生して市民生活に重大な影響を及ぼすこともあります。

雪の積もり方には地域差があり、風向によっては大きく変化するため細かな予想ができません。

大雪や暴風雪が予想される場合は、なるべく外出を控えるとともに災害に備える準備をしておきましょう。もし外出をするときはなるべく広く交通量の多い道路を選んで通ることが必要です。また、大雪の後は屋根に積もった雪下ろし作業による転落や屋根からの落雪にも注意してください。



●お問い合わせ先

室蘭地方気象台防災業務課 (☎0143-22-4249)

防災 情報版 39

えりも高校防災授業を終えて

12月11日、えりも高校3年生37人を対象とした防災授業を実施させていただきました。

まず谷岡センター長が、北海道やえりも町の過去の地震・津波と研究・観測で最前線の取り組みについて講義をしました。

その後、「クロスロード」という防災ゲームを実施しました。これは、災害時に直面する、二者択一では決めにくい選択の場面を疑似体験してもらい、お互いの考えを分かち合うゲームです。

今回はペット連れの避難の有無、津波避難時の行動について考えてもらいました。各自の考えを付せんに書いて発表する時には、自分自身のこと、周囲の環境、普段の備えについてなど、様々なコメントがありました。

例えば、大型犬を連れて体育館に避難するかどうか、という問いに対しては、家族同然の存在だから連れて行く、という意見がある一方で、動物アレルギーの人がいるかもしれない、えさの用意ができないのではないか、周りの人の迷惑にならないようにすべき、といった意見が出されました。

そこから、いざという時にペットのための備えはできているだろうか、避難所の使い方はどうしたらよいのだろうか、といったことも検討する必要があるという気づきを得るこ

とができました。もう一問の質問でも、生徒のみなさんの防災に関わる多様な視点を分かち合う機会となりました。

えりも高校3年生を対象とした講義とゲームを組み合わせた防災授業は、今回で2年目になります。いずれの年も、生徒のみなさんが真剣に講義を聞き、ゲームで出された問いについてまじめに向き合う姿に感銘を受けています。生徒たちのこのような姿は、普段の教育活動や、子供たちとの向き合い方のたまものだと思います。

災害は非日常の出来事ですが、日常のあり方が問われる事態が起こります。いつもやっていることはできても、普段やっていないことはできません。

えりも町の子供たちは、今でも十分頼もしい存在です。

災害に備えるための特別な活動に加えて、普段の生活、日常の教育活動の中で防災につながる視点が養われる機会を増やしていただくと、地域の防災に関しても存在感が増していくだろうという期待が持たれます。



定池 祐季

北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター・助教、博士(文学)。中学生の時、奥尻島で北海道南西沖地震を経験する。公務員、NPO勤務、「人と防災未来センター」(神戸市)研究員を経て2011年4月より現職。

こんにちはは保健師です

保健師も町の子宮頸がん検診を受けてきました。

●若い人に多い子宮頸がん

子宮頸がんは、20歳代〜30歳代に1番多く、近年急増しています。子宮頸がんの発症初期は、自覚症状がなく、検診を受けることで早期に発見することが出来ます。また、早期がんであれば、9割近くが完治するようになりました。

●がん検診を受ける人が少ない

えりも町の子宮頸がん検診の受診率は、10人に1人と低く、特に20歳代〜30歳代の若い世代の受診率が低い現状にあります。多くの方が「自分は若いから、がんにはならない」、「忙しい」などの理由から、検診を受けていません。がん検診は、がんを発見する目的の他に、がんから命を守る健康管理の1つとして利用も出来ます。

●待ち時間が少ない検診

えりも町では、年に2回、女性検診を実施していますが、完全予約制のため、待ち時間も少なく、気軽に検診を受けることが出来ます。また、家族や友人同士で、時間を合わせて一緒に受診することも出来ますので、ぜひ子宮頸がん検診を受診してみませんか？

女性検診の詳細は、折り込みチラシをご覧ください。

子宮頸がん検診の様子

子宮頸がん検診は、1時間程で終わります！

受付

完全予約制で呼び出しを行っているため、待ち時間が少ないです。



問診

保健師による問診を行います。音楽の流れた個室での相談になります。



料金徴収

検診機関のスタッフによる料金徴収となります。徴収後に、検診を実施します。



検診実施

検診バスにて実施。バスの中では、ヘッドホンをつけて待つのでプライバシーは守られます。



1月の保健メモ

(連絡先 役場保健福祉課 保健予防係 ☎2-4630)

行 事	実施日	時 間	会 場	
麻しん風しん予防接種	7日(火)、21日(火)	15:30~16:00	町立診療所 (要予約)	
日赤巡回診療	8日(水)、22日(水)	13:30~14:30	保健センター (要予約)	
子供料理教室	9日(木)、10日(金)	10:00~13:00	保健センター (要予約)	
二種混合予防接種	14日(火)	15:30~16:00	町立診療所 (要予約)	
	23日(木)	14:00~16:00	庶野診療所 (要予約)	
風の子ひろば (育児サークル)	15日(水)、29日(水)	10:00~11:30	福祉センター	
マミィ〔母親〕教室	16日(木)、23日(木)	13:30~15:30	保健センター (要予約)	
運動教室	20日(月)、27日(月)、31日(金)	14:00~15:30	福祉センター (要予約)	
乳児健診	21日(火)	9:00~11:00	保健センター (個別通知)	
三種混合予防接種		13:30~13:40	保健センター	
B C G 予防接種		13:40~13:50	保健センター	
四種混合予防接種		13:50~14:00	保健センター	
ヒブワクチン予防接種		14:00~14:10	保健センター	
小児用肺炎球菌ワクチン予防接種		14:10~14:20	保健センター	
ポリオ (不活化) 予防接種		14:20~14:30	保健センター	
献血		24日(金)	13:30~16:00	保健センター
離乳食教室		31日(金)	13:30~15:30	保健センター (要予約)
乳幼児健診		2月4日(火)	8:50~11:00	保健センター (個別通知)
麻しん風しん予防接種	15:30~16:00		町立診療所 (要予約)	

●庶野診療所 (☎4-2219)

三種混合・BCG・麻しん風しん混合・ヒブ・小児用肺炎球菌、不活化ポリオ、四種混合の個別予防接種

- ①実施日……毎週月・木曜 (2日前まで予約)
- ②時 間……14:00~16:00

●浦河日赤病院 (☎0146-22-5111)

ヒブ・小児用肺炎球菌の予防接種

小児科外来にお申し込みください。

●町立診療所

麻しん風しん混合・二種混合の予防接種

前週の金曜日までに保健予防係へお申し込みください。




「早寝早起き朝ごはん」運動

「早寝早起き朝ごはん」運動は、子どもたちの生活リズムの向上を目的としています。子どもたちが毎日を元気に楽しく過ごし、健やかに成長していくために、次のような基本的な生活習慣を身に付けることは、とても大切なことです。

- 早寝早起きを心がける
- 朝ごはんをきちんと食べる
- 学習をする時間や運動をする時間を作る
- テレビを見る時間やテレビゲームをする時間を減らす

※生活リズムが乱れがちとなる冬休み期間中に、家族みんなで積極的に取り組みましょう。

唐辛子暮色記憶の山ばかり
浜の子の御輿は秋を乗せてくる
黄落の明るきを踏む試歩の道
裾野より彩り初め紅葉山
じぐざぐの来し方いとし草の花
月落ちて裏山どっと迫り来る



(えりも吟社)

小山内栄峰
木村 武舟
佐々木蓉子
佐々木凌子
鈴木 周子
長岡 青風

♥ご厚志に感謝します

- 泉文夫さん (新浜)
新浜自治会へ 50,000円
やまと苑へ 30,000円
- 池田勉さん (東洋)
やまと苑へ 30,000円
- 池田彦左衛門さん (東洋)
東洋第1自治会へ 50,000円
- 駒形克廣さん (庶野)
庶野中央自治会へ 30,000円
- 田中芳樹さん (庶野)
庶野中央自治会へ 30,000円
庶野老人クラブへ 30,000円
- 大川真知子さん (歌別)
歌別第3自治会へ 30,000円
- 高田秀勝さん (大和)
目黒自治会へ 30,000円
- ★社協のボランティアセンターへ
田中芳樹さん (庶野) 30,000円

弁護士相談センター無料相談 (事前予約制)

会場	日程	時間
えりも相談所 (保健センター)	1/21・2/18	13:15 ~ 16:15
様似相談所	1/14・2/12	
浦河相談所	1/7・2/4	
静内相談所	1/6・8・15・20・22・27・29 2/3・5・10・12・17・19・24・26	13:30 ~ 16:30
予約受付	月曜日～金曜日 / 10:00～16:00 ☎0146-42-8373	



かとうれな
加藤玲奈ちゃん
(友樹・あゆみ)
H25.1.28生(歌別)

食べる事が大好き!
我が家一の食いしん坊です。



さかもといな
坂本新菜ちゃん
(孝也・未紅)
H25.1.5生(目黒)

泣き虫で甘えん坊ちゃん。
いつもお姉ちゃんと遊んでいます。

あつまれ!一歳児



「すくのび」は、「すくすくのびのび育って」の願いを込めたタイトルです。

合、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

また、若年者納付猶予制度は、学生でない30歳未満の方で、ご本人及び配偶者の所得が一定額以下の場合に、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

※国民年金のご相談・手続きなどについては、下記の連絡先までお問い合わせください。

●お問い合わせ先

役場町民生活課年金係 ☎2-4621

苫小牧年金事務所 ☎0144-56-9002

緊急電話「110」、相談電話「#9110」

110番は、緊急の事件・事故など、いち早く警察へ通報するための緊急電話です。

- 警察官が、事件・事故の内容について必要な質問をしますので、慌てず落ち着いて正しく答えてください。
- 警察官が早く現場に到着できるよう、場所や付近の目標となる建物などを正しく伝えてください。
- 携帯電話から110番する場合は、車を運転しながらや、歩きながらの通報は控えてください。通報が途切れることがあります。また、車を運転しながらの通報は、法令違反となる場合があります。安全な場所に停車してから通報してください。

緊急の対応を必要としない遺失物・拾得物の届出、諸願手続きに関する照会などは、最寄りの警察署、交番又は駐在所に電話をしてください。

道民生活の安全に関する相談や、警察業務に関する意見・要望は、警察相談専門電話（短縮ダイヤル「#9110」）をご利用ください。

●お問い合わせ先

浦河警察署 ☎0146-22-0110

「ういず」の巡回相談

障がい者支援事業所「ういず」では、来所や電話、訪問による相談のほか、月に1度、役場保健センターで巡回相談を行っています。

一般的な相談は無料ですので、お気軽にご利用ください。

●1月の巡回相談日時 1月20日 10時～正午

●お問い合わせ先

〒057-0032 浦河町向が丘西2丁目568-66

☎0146-22-6246（FAX兼用）

E-メール uizu@u-kouyouen.jp

管理経営に関するモニター募集

林野庁北海道森林管理局では、平成26・27年度の国有林野の管理経営に関するモニターを下記のとおり募集します。

●目的

皆さんに国有林の役割や現状について理解をしてもらい、国有林野の管理経営に皆さんの声を反映させていくことを目的としています。

●応募資格

北海道にお住まいの国有林に関心のある満20歳以上（平成26年4月1日次点）の方

●募集期間

平成26年2月28日（金）必着

●応募方法

郵送・FAX・メールのいずれでも可能

※ご不明な点がございましたら、下記担当までお問い合わせください。

●お問い合わせ先

北海道森林管理局企画課国有林モニター

担当：福浦・安藤

〒064-8537

札幌市中央区宮の森3条7丁目70番地

☎011-622-5228 FAX011-622-5194

Eメール h_kikaku@rinya.maff.go.jp

暴風雪などによる被害防止

暴風雪などによる被害を防止するためには、気象情報に注意して、暴風雪が予想される時は外出を避けましょう。

●止むを得ず車で外出するときは

- 車が立ち往生する可能性もあるので、防寒着や長靴、非常食などを車に用意し、十分に燃料があることを確認して出かけましょう。
- 運転中に地吹雪などにより危険を感じたら、無理をせずに道の駅などで天候の回復を待ちましょう。
- 車が立ち往生した時は、JAFなどのロードサービスや近くの人家などに救助を依頼してください。また、避難できる場所や近くに人家がない場合は、消防（119番）や警察（110番）に連絡し、車の中で救助を待ちましょう。
- 車が雪に埋まったときは、エンジンを切りましょう。マフラーが雪に埋まると排気ガスが車内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。

お知らせ



建設工事等入札（11月分）

えりも町で行った建設工事等の入札結果をお知らせします。

●11月 6日入札

- 水道資材倉庫新築工事
落札業者 山一工務店
- 医師住宅車庫新築工事
落札業者 山一工務店
- 新浜改善センター改修工事
落札業者 (有)野澤組

●11月14日入札

- スポーツ公園公衆便所新築工事
落札業者 (有)野澤組
- 大和C団地外構工事
落札業者 (有)川崎建設
- 新浜地区下水道工事
落札業者 (株)ホロトラ建設興業
- 新浜団地1号線舗装工事
落札業者 (有)藤田建設

住宅改修工事補助事業

えりも町住宅改修工事等補助事業の予算が残りわずかとなりました。

工事予定のある方は、お早めにご相談ください。

●お問い合わせ先

役場建設水道課建築管財係 ☎2-2114

公的年金など受給されている方へ

公的年金等の収入金額の合計額が400万円以下で、かつ、公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下である場合には、所得税及び復興特別所得税の確定申告が不要です（源泉徴収された税額の還付を受ける場合などは、確定申告書を提出することができます）。

税務署への確定申告の必要がない場合であっても、住民税の申告が必要な場合があります。

住民税に関する詳しいことは下記の連絡先までお問い合わせください。

●お問い合わせ先

役場税務課 ☎2-4620

年末年始の収集日程

	清掃センター	埋立処分場	ごみ収集
12月28日	8時30分～16時00分		※燃やせないごみの代替収集 ※資源ごみの収集 詳細は下記のとおり
12月29日	8時30分～16時00分		休 み
12月30日	8時30分～15時00分		
12月31日	8時30分～11時30分		
1月1日～5日	休 み		
1月6日	平常どおり		

《ごみ収集》

12月28日 ※燃やせないごみと資源ごみの収集

○燃やせないごみ（平成26年1月1日の代替収集）

午前：近浦・笛舞・和里・大和・西えりも・本町・中央・沢町

午後：住吉・高見・新栄・みどり・旭ヶ丘・柏台・あけぼの・新浜

○資源ごみ

午前：えりも岬全域・東洋第4

午後：東洋第1～3・歌別第1～3

年末は、大変混み合いますのでお早めに！

●お問い合わせ先

清掃センター（町民生活課清掃係）☎2-4323

20歳になったら国民年金

国民年金は、年をとったときやいざというときの生活を、現役世代みんなで支えようという考えで作られた仕組みです。

具体的には、若いときに公的年金に加入し保険料を納め続けることで、年をとったときや病気やケガで障害が残ったとき、家族の働き手が亡くなったときに、年金を受け取ることができる制度です。

●国民年金のポイント

国民年金は20歳から60歳までの人が加入し、保険料を納める制度です。

国が責任をもって運営するため、安定していますし、年金の給付は生涯にわたって保障されています。

また、年をとったときの老齢年金のほか障害年金や遺族年金もあります。

●「学生納付特例制度」と「若年者納付猶予制度」

学生納付特例制度は、学生の方は一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定額以下の場

人のうとき

(平成25年11月30日現在)

近浦	173人	68世帯
笛舞	288人	116世帯
大和	972人	429世帯
本町	921人	407世帯
新浜	708人	305世帯
歌別	341人	132世帯
東洋	383人	132世帯
えりも岬	548人	211世帯
庶野	718人	275世帯
目黒	155人	76世帯
合計	5,207人	2,151世帯
(男 2,593人 女 2,614人)		
転入	8人	転出 11人
出生	5人	死亡 12人

税の納期

◆国民健康保険税 第7期
(納期限 平成26年1月31日)



町立診療所・庶野診療所の診療表

●受付時間・電話番号

町立診療所(☎2-2265)
8時30分～11時30分
13時00分～16時30分

庶野診療所(☎4-2219)
9時00分～11時30分
14時00分～16時30分



		月	火	水	木	金
		12/30	12/31	1/1	1/2	1/3
町立	内科	午前のみ	休診	休診	休診	休診
	外科	午前のみ				
庶野診		休診				
		1/6	1/7	1/8	1/9	1/10
町立	内科	○	検査日	○	○	午前のみ
	外科	○	○	午前のみ	午前のみ	○
庶野診		休診	○	○	○	○
		1/13	1/14	1/15	1/16	1/17
町立	内科	休診	検査日	○	○	午前のみ
	外科		○	午前のみ	午前のみ	○
庶野診			○	○	○	○
		1/20	1/21	1/22	1/23	1/24
町立	内科	○	検査日	○	○	午前のみ
	外科	○	○	午前のみ	午前のみ	○
庶野診		○	○	○	○	○
		1/27	1/28	1/29	1/30	1/31
町立	内科	○	検査日	○	○	午前のみ
	外科	○	○	午前のみ	午前のみ	○
庶野診		○	○	○	午前のみ	休診

○印は午前・午後とも診察

町立
診療所

- ①12/30の内科・外科とも、午前診療となります。
- ②12/31～1/5は、年末年始のため休診となります。
1月の診療は、1/6からとなります。

庶野
診療所

- ③1/6と1/31は、休診となります。
- ⑤1/30は、午後から休診となります。

都合により、診療表が急遽変更となる場合もあります。ご了承ください。

1月の行事

25日	22日	21日	18日	14日	13日	12日	11日	5日	1日												
り高体育館／13時～15時40分)	体幹トレーニング教室(えりも)	30分・違反14時～16時)	センター/優良13時～13時	運転免許更新時講習(福祉)	無料法律相談(集団指導室)	WJ(風の館/15時～17時)	Unco WITH nariko OLD&NE	北海道歌旅座えりも公演	北海道歌旅座えりも公演	9時～13時)	町スポーツ少年団リーダー研修会(国立ひだか青少年自然の家/8時～15日)	まなびの広場「絵画教室」(福祉センター/10時～11時30分・25日)	北海道歌旅座えりも公演	Unco WITH nariko OLD&NE	WJ(風の館/15時～17時)	無料法律相談(集団指導室)	運転免許更新時講習(福祉)	センター/優良13時～13時	30分・違反14時～16時)	体幹トレーニング教室(えりも)	り高体育館／13時～15時40分)